



# 平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コジマ

コード番号 7513 URL <http://www.koiima.net>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺崎 悦男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理本部長 (氏名) 高野 淳一

TEL 03-6907-3113

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	205,767	—	△3,300	—	△3,234	—	△3,059	—
24年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年8月期第3四半期 △2,580百万円 (—%) 24年8月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	△39.26	—
24年8月期第3四半期	—	—

当社グループは、平成24年8月期より決算期を毎年3月31日から毎年8月31日に変更しております。これに伴い、平成24年8月期は平成24年4月1日から平成24年8月31日までの5ヶ月間となっており、平成24年8月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率の記載は行っておりません。

また、平成25年8月期第1四半期より「物流センター使用料に関する会計処理方法の変更」を行っております。詳細は添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
25年8月期第3四半期	153,852	—	46,506	—	30.2	—
24年8月期	170,983	—	49,411	—	28.9	—

(参考) 自己資本 25年8月期第3四半期 46,506百万円 24年8月期 49,411百万円

平成25年8月期第1四半期より「物流センター使用料に関する会計処理方法の変更」を行っております。詳細は添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。なお、平成24年8月期の数値につきましては当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	第1四半期末		第2四半期末		年間配当金 第3四半期末		期末	合計
	円 銭	%	円 銭	%	円 銭	%	円 銭	円 銭
24年8月期	—	—	—	—	—	—	4.16	4.16
25年8月期	—	—	0.00	—	—	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,600	—	△1,310	—	△1,840	—	△2,150	—	△27.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年8月期は決算期変更に伴い5か月の変則決算となっておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期3Q	77,912,716 株	24年8月期	77,912,716 株
25年8月期3Q	621 株	24年8月期	591 株
25年8月期3Q	77,912,108 株	24年8月期3Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、復興需要等を背景とした緩やかな回復傾向がみられる中、平成24年12月の政権交代後の経済政策による更なる景気回復への期待感から、長期間続いた円高や株価低迷から脱却する兆しがみられたものの、海外景気に対する不安感や原材料価格の上昇など国内景気の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な景況感で推移いたしました。

当家電販売業界では、エアコン等の季節商品やスマートフォン（関連商品を含む）、デジタル一眼レフカメラ、冷蔵庫、LED照明等の省エネ商品が堅調に推移した一方で、パソコンは単価下落の影響により低迷し、また、テレビやレコーダー等の映像商品は依然として低調に推移しており、全体として、家電エコポイント制度の終了や地上デジタル放送移行完了後の反動減から脱するには至っていない状況にあります。

このような状況の中、業界内の競争はますます激化の傾向を示しており、株式会社ビックカメラとの資本業務提携を結び、不採算店舗の閉鎖を進め、全社的な態勢の再構築途上にある当社グループにとりまして、経営環境は依然として厳しいものとなっております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、株式会社ビックカメラとの店舗運営ノウハウ及び店舗マネジメント、販売促進の連携強化推進の一環として、魅力ある店舗づくりを目指した90店舗の改装を実施するとともに、兵庫県神戸市に株式会社ソフマップとの初共同出店となる神戸ハーバーランド店、埼玉県入間郡三芳町にユニクス三芳店を開業いたしました。また、平成25年6月8日には、お客様が実感しやすい「品揃え・価格・商品陳列」について、従来のイメージを一新した店舗運営を行う「コジマ×ビックカメラ小倉店」を開業しております。

新たな営業態勢の構築に取り組む一方、大幅な経費削減も実現いたしました。厳しい環境の中でNEW松原店など20店舗の閉鎖を実施したこともあり、売上高2,057億67百万円に対し、営業損失33億円、経常損失32億34百万円、四半期純損失30億59百万円をそれぞれ計上する結果となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は185店舗となっております。

当社グループは、平成25年2月に本社機能の重要部分を移転いたしました。これにより、株式会社ビックカメラとのより一層の連携関係を構築し、早急に同社との仕入体制の一本化、物流・システム面での連携強化等、同社との提携効果の更なる実現を図ってまいります。また、不採算店舗の閉鎖を迅速に進める一方、新店舗の開発に経営資源を投じ、営業態勢の再構築・強化に鋭意取り組みを進めてまいります。

なお、当社グループは、前連結会計年度において毎年3月31日としておりました連結決算日を毎年8月31日に変更いたしました。これにより、前連結会計年度は平成24年4月1日から平成24年8月31日までの5ヶ月決算となっており、平成24年8月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比して171億30百万円減少し、1,538億52百万円となりました。その内訳は、流動資産が161億68百万円減少して809億2百万円に、固定資産についても9億62百万円減少して729億50百万円となりました。

流動資産の減少は、現金及び預金が131億37百万円、商品が22億80百万円、繰延税金資産が6億19百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産の減少は、繰延税金資産が8億円、投資有価証券が7億14百万円それぞれ増加したものの、差入保証金が20億55百万円、有形固定資産が4億94百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比して142億25百万円減少し、1,073億46百万円となりました。その内訳は、流動負債が137億82百万円増加して911億13百万円に、固定負債については280億7百万円減少して162億33百万円となりました。

流動負債の増加は、短期借入金が46億20百万円、買掛金が18億38百万円、ポイント引当金が7億15百万円、店舗閉鎖損失引当金が23億17百万円それぞれ減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が231億94百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少は、商品保証引当金が7億1百万円増加したものの、長期借入金が274億38百万円、リース債務を含むその他が10億60百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比して29億5百万円減少し、465億6百万円となりました。

なお、当社グループは、後述のように、当第1四半期連結会計期間より物流センター使用料に関する会計処理方法の変更を行っており、当該会計方針の変更を前連結会計年度に遡及適用した後の数値に基づき記載しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期における業績は、概ね予想通りに推移しており、平成25年4月9日付決算短信発表時に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(物流センター使用料に関する会計処理方法の変更)

仕入先から受領する物流センター使用料については、従来、販売費及び一般管理費から控除しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、売上原価から控除する方法に変更しております。

これは、株式会社ビックカメラの子会社となったことに伴い、同社の連結グループ内で会計処理を統一するために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は546百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,296	16,158
受取手形及び売掛金	11,048	11,614
商品	48,542	46,261
貯蔵品	282	239
繰延税金資産	4,326	3,707
その他	3,713	3,057
貸倒引当金	△139	△137
流動資産合計	97,070	80,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,706	19,285
土地	10,556	10,531
その他（純額）	2,431	2,383
有形固定資産合計	32,694	32,200
無形固定資産		
その他	2,678	2,874
無形固定資産合計	2,678	2,874
投資その他の資産		
投資有価証券	406	1,120
差入保証金	22,820	20,764
繰延税金資産	11,783	12,583
その他	3,574	3,451
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	38,539	37,875
固定資産合計	73,913	72,950
資産合計	170,983	153,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,110	13,272
短期借入金	34,050	29,430
1年内返済予定の長期借入金	4,651	27,845
未払法人税等	173	203
賞与引当金	852	350
ポイント引当金	1,947	1,232
店舗閉鎖損失引当金	9,353	7,036
資産除去債務	654	777
その他	10,536	10,964
流動負債合計	77,331	91,113
固定負債		
長期借入金	27,776	338
商品保証引当金	488	1,189
退職給付引当金	25	8
役員退職慰労引当金	159	144
店舗閉鎖損失引当金	7,116	6,967
資産除去債務	4,393	4,365
その他	4,280	3,219
固定負債合計	44,241	16,233
負債合計	121,572	107,346
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,975	25,975
資本剰余金	27,999	24,083
利益剰余金	△4,516	△3,984
自己株式	△0	△0
株主資本合計	49,457	46,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45	432
その他の包括利益累計額合計	△45	432
純資産合計	49,411	46,506
負債純資産合計	170,983	153,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)
売上高	205,767
売上原価	157,156
売上総利益	48,610
販売費及び一般管理費	51,910
営業損失(△)	△3,300
営業外収益	
受取利息	108
受取配当金	7
販促協賛金	714
店舗閉鎖損失引当金戻入額	439
その他	215
営業外収益合計	1,484
営業外費用	
支払利息	784
支払手数料	628
その他	6
営業外費用合計	1,419
経常損失(△)	△3,234
特別利益	
投資有価証券売却益	0
固定資産売却益	4
特別利益合計	4
特別損失	
投資有価証券評価損	0
固定資産売却損	9
固定資産除却損	70
賃貸借契約解約損	3
リース解約損	0
特別損失合計	84
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,314
法人税、住民税及び事業税	161
法人税等調整額	△417
法人税等合計	△255
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,059
四半期純損失(△)	△3,059



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△3,059
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	478
その他の包括利益合計	478
四半期包括利益	△2,580
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,580
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループの報告セグメントは単一（家電品販売業部門）であり、セグメント情報の重要性が乏しいため、記載を省略しております。